

| Column |

## ART & CULTURE around 芸劇

東京芸術祭 2022  
2022年9月1日(木)～12月11日(日)

会場：東京芸術劇場、  
GLOBAL RING THEATRE  
〈池袋西口公園野外劇場〉、  
豊島区立芸術文化劇場  
〈東京建物 Brillia HALL〉ほか  
東京・豊島区池袋エリア

<https://tokyo-festival.jp/2022/>



## 芸術文化の未来をつくる「東京芸術祭 2022」!

この秋、国内外で活躍する表現者たちのエネルギーが、池袋エリアに集結。

東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指し、毎年秋に豊島区池袋エリアを中心に開催される都市型総合芸術祭「東京芸術祭 2022」が、今年も9月1日から始まりました。12月11日まで続くこの芸術祭では、演劇、ダンス、伝統芸能など30を超えるプログラムが行われる。

なかでも注目したいのが、ワンコインで気軽に舞台演劇に触れる機会を創出する野外劇プログラムだ。今年も東京芸術劇場前のグローバルリングシアターを舞台に、マイムの動きをベースにした独自の演出で注目を集める小野寺修二演出の野外劇『嵐が丘』を上演。出演の片桐はいりらとともに、英国の女性作家エミリー・ブロンテの傑作に挑む。池袋の喧騒さえも芝居の一部になるこの野外劇で、夕景から夜にかけて立ち上がる異世界を味わってほしい。

野外劇をはじめ、期間中に国内外で注目を集める舞台芸術を味わえるのも、この芸術祭の特徴だ。現代社会に蔓延する他者への無関心や無意識のうちの暴力を描き出す劇作家・演出家の山本卓卓のテキストと、老若男女から電車や犬に至るまで25役を巧みに踊り演じ分けるダンサーの北尾亘の身体がコラボレー

トした芸劇オータムセレクション『となり街の知らない踊り子』や、世界的にも評価の高い演出家の宮城聡と俳優の美加理が挑む、詩人トラクルの自伝的散文詩に着想を得たフランス演劇界の巨匠クロード・レジュ演出作へのオマージュ『夢と錯乱』は必見の舞台。また、観客が空間に配置されたパネル状のスクリーンに投影される等身大の俳優の映像と対峙する、演劇作家・岡田利規による映像演劇『階層』など、コアな演劇ファンも大いに魅了するラインナップが揃う。

さらに、豊島区内の街の生活や風景をベースに制作した短編戯曲集をもとに多角的なアプローチを行うアートプログラム『くらしチャレンジ (大人とこどものための戯曲集)』や、子育て中の親のアート鑑賞と子どものアート体験を両立させる託児プログラム『アートカル・マジカル学園アートサポート児童館』など、幅広い層が芸術に触れることができる機会や、舞台芸術の未来を担うアジアの若者たちの人材育成と教育普及を目的とした「東京芸術祭ファーム」のプログラムもこの芸術祭の大きな魅力だ。

この秋、様々な表現者のエネルギーが集結する池袋エリアで、心ゆくまで芸術の“祭り”を堪能してほしい。

船寄洋之 (ライター / 編集者)

### INFORMATION

東京芸術劇場では、劇場をご利用になるすべての方の安全と安心のため、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組みをおこなっています。ご来館される皆さまは、当劇場ウェブサイトの【東京芸術劇場における新型コロナウイルス感染症対策とご来館される皆さまへのお願い】や館内掲示されている注意事項などを、ご確認ください。

次号の発行は2023年1月1日を予定しています。



#### 〈鑑賞サポート〉について

東京芸術劇場では、一部の事業で、視覚・聴覚障害者のための舞台鑑賞サポートやヒアリンググループ、各種割引、託児サービスなどの〈鑑賞サポート〉を行っております。ぜひご利用ください。  
詳細 ▶ 劇場HP内「鑑賞のサポート」ページ  
[www.geigeki.jp/access/support.html](http://www.geigeki.jp/access/support.html)

新型コロナウイルス感染症にかかわる諸般の事情により、掲載情報に変更がでる場合がございます。  
最新情報は、東京芸術劇場ホームページ等でご確認ください。

# 東京 芸術 劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre